

巻 頭 言

2001年から石沢進氏にお願いしてきた新津地域における植物分布の調査・研究については、6年目となる今年度から(財)新津文化振興財団から新潟市が継承し、継続して実施することとなった。

新潟市は、本年4月、本州日本海側初の政令指定都市となる。他の政令市にはない豊かな自然環境に恵まれていることから、高次都市機能と豊かな自然環境とが調和・共存した「大地とともに育つ田園型政令市」を基本理念の一つに掲げている。世界中で異常気象が問題となり、環境問題への関心が高まる中、本市の持つ多様で貴重な自然環境の保全・活用を図ることで、自然と共生する空間の創造を進め、次世代の子どもたちにこの豊かな環境を引き継いでいきたい。

これまでの石沢氏の調査成果などを踏まえながら、昨年、本市では「にいつ丘陵里山保全活用基本計画」を策定した。美しい里山の景観の保全や再生を図りながら、健康増進・リフレッシュの場として、また、体験型の学びの場、交流の場として積極的に活用していきたい。

また、新津地域は政令市移行に伴い秋葉区となるが、区の将来像を「花と緑に囲まれた、快適でにぎわいのあるまち」とし、自然環境の保全と活用を図りながら、地域の歴史と個性を活かすまちづくりを大きな柱としている。

本年報や報告会を通じて、調査の成果を広く市民の皆さんに情報提供し、大勢の皆さんから関心を持っていただき、豊かな自然の保全と育成に向けたネットワークづくり、個性あるまちづくりにつなげていきたい。

本年報発刊にあたり、ご協力いただいた関係者の方々に深く感謝申し上げます。

2007年3月

新潟市新津支所長

松 井 弘